

開催結果報告書

第1回 AI・人工知能 EXPO NEO

— AXを次の段階へ進める2日間 —

【会期】2026年 8月 5日（水）・6日（木）

【会場】東京国際フォーラム

【主催】RX Japan合同会社



AX4 AIによる 意思決定・全体最適

AIを意思決定に組み込み、
プロセス全体を自律的に実行



AX3 AI代替

AIが社内システムと連携し、
業務の一部を代行



AX2 AI活用（組織・部門展開）

部署単位・チーム単位で
AI活用を共有・展開

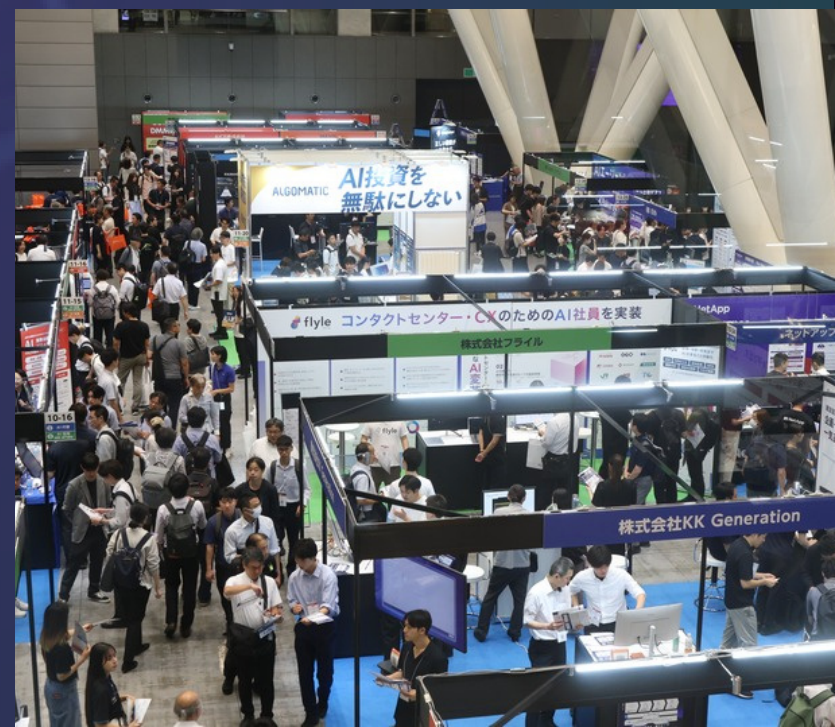


AX1 AI活用（個人レベル）

個人レベルでAIツールを
活用し、業務を効率化

目次

1. 開催概要	p.03～04
2. 会場の様子	p.05～06
3. 来場者について	p.07～12
● 来場者数	
● 来場者属性	
● 来場者の声	
4. セミナー	p.13～27
● セミナー概要	
● AX Table	
● TechAwake	
● AI Summit	
● 聴講者からの声	
5. 特別企画：AX CONNECT NIGHT	p.28
6. 出展社向けサービス	p.29
● 出展社専用商談スペース	
7. 来場者向けサービス	p.30～34
● フェーズ別ラウンジ	
● AXフェーズ診断	
● 会場案内図	
● NOW（来場者向けアプリ）	
● AX推進のための「経営企画白書2026」配布	
8. 出展社について	p.35～37
● 出展社一覧	
● 出展社の声	
9. 広報・SNS	p.38～39
● プレスリリース	
● SNS（X）	
10. 次回開催のご案内とお問合せ先	p.40



1. 開催概要

展示会名 第1回 AI・人工知能 EXPO [NEO]

会期

2026年8月5日（水）・6日（木） 10:00～17:00

会場

東京国際フォーラム（ホールE）

主催

RX Japan合同会社

本展は、来場者のAXフェーズ（AI活用の成熟度）を可視化する仕組みを採用した実践型AI展示会として初開催。来場者の検討段階（PoC検討層から業務実装・高度化・自律化を見据えた層まで）に合わせて出展社からの的確な提案を受けられる、来場者・出展社のマッチングが促進される商談展です。

来場企業のAXフェーズ（AI活用の成熟度）の4段階

AX1



**個人では
使えている**

個人レベルでAIツールを活用、業務効率化済。組織ルール整備などで、チームに広がらない。

AX2



**PoCでは
効果が出た**

部署・チームではAI活用が進み、PoCなどを実施したが、**本番化・予算化に進まない。**

AX3



自動化は進んだ

AIが社内システムと連携・業務の一部を代行。しかし、**最終確認・承認は人が行っている。**

AX4



AI活用は進んだ

AI連携でプロセス全体を自律的に実行。分析・改善提案まで行えているが、**競争優位につながらない。**

1. 開催概要

本展示会で、来場者が体験できる特別な展示会体験

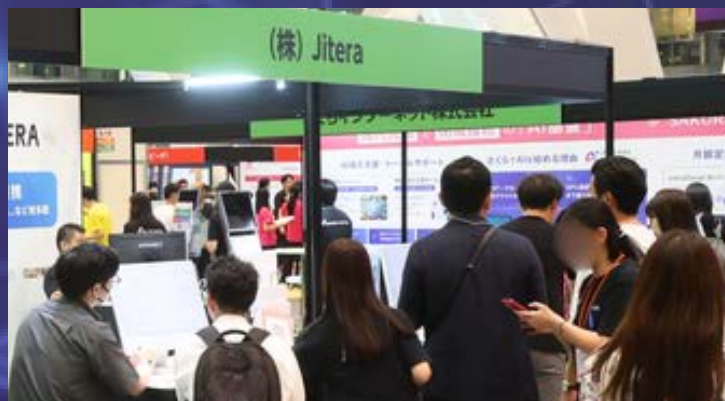
AI・人工知能 EXPO NEO で得られる 体験とは？



自身のAXフェーズを次の段階に進めるための出展社・最新事例に出会える！

2. 会場の様子

会場では、来場者ニーズに合わせた提案・商談が行われました。



2. 会場の様子

AXフェーズに合わせて開催された各セミナー（詳細12pより）を開催。来場者向けラウンジ（詳細29p）もご提供しました。



3. 来場者について

3-1. 来場者数

総来場者数

8月5日（水）

3,109名

8月6日（木）

3,176名

2日間合計

6,285名

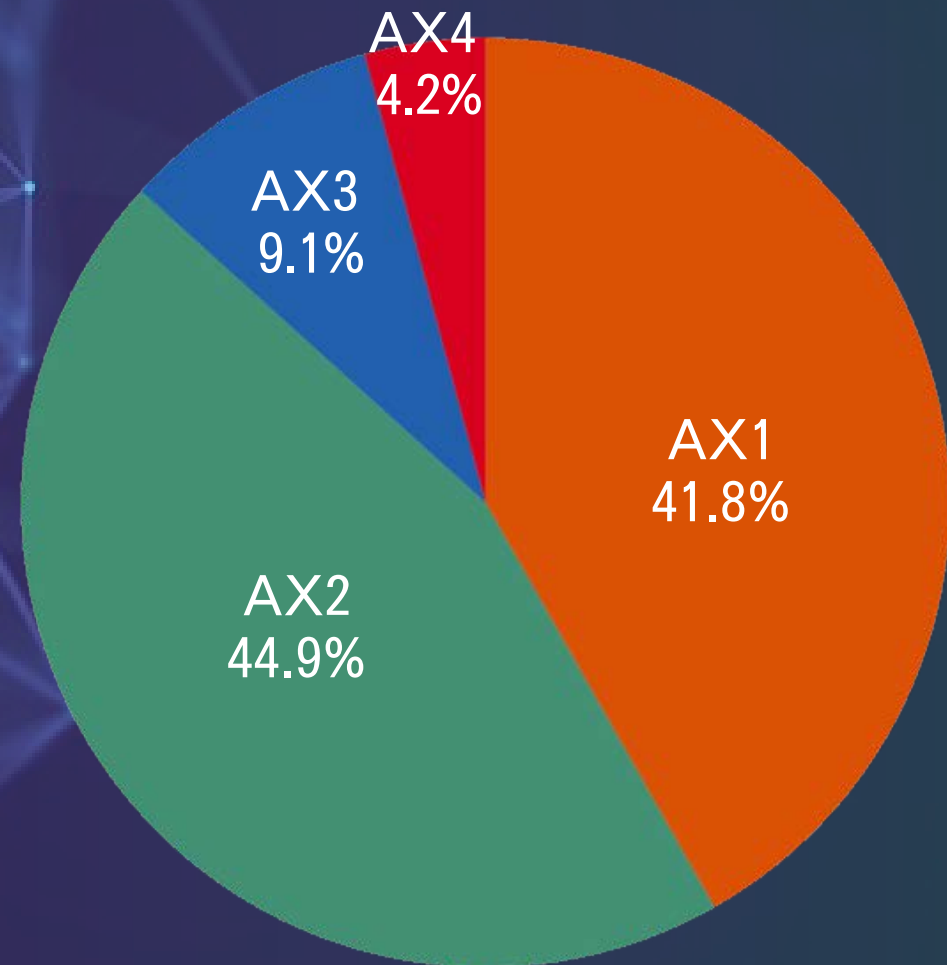
※2026年8月7日（金）時点

※1人の来場者が、同日に複数回来場した場合は1名と集計

※1人の来場者が、複数日来場した場合は、その日数分を集計
（例：1人が2日間来場した場合は、2名と集計）

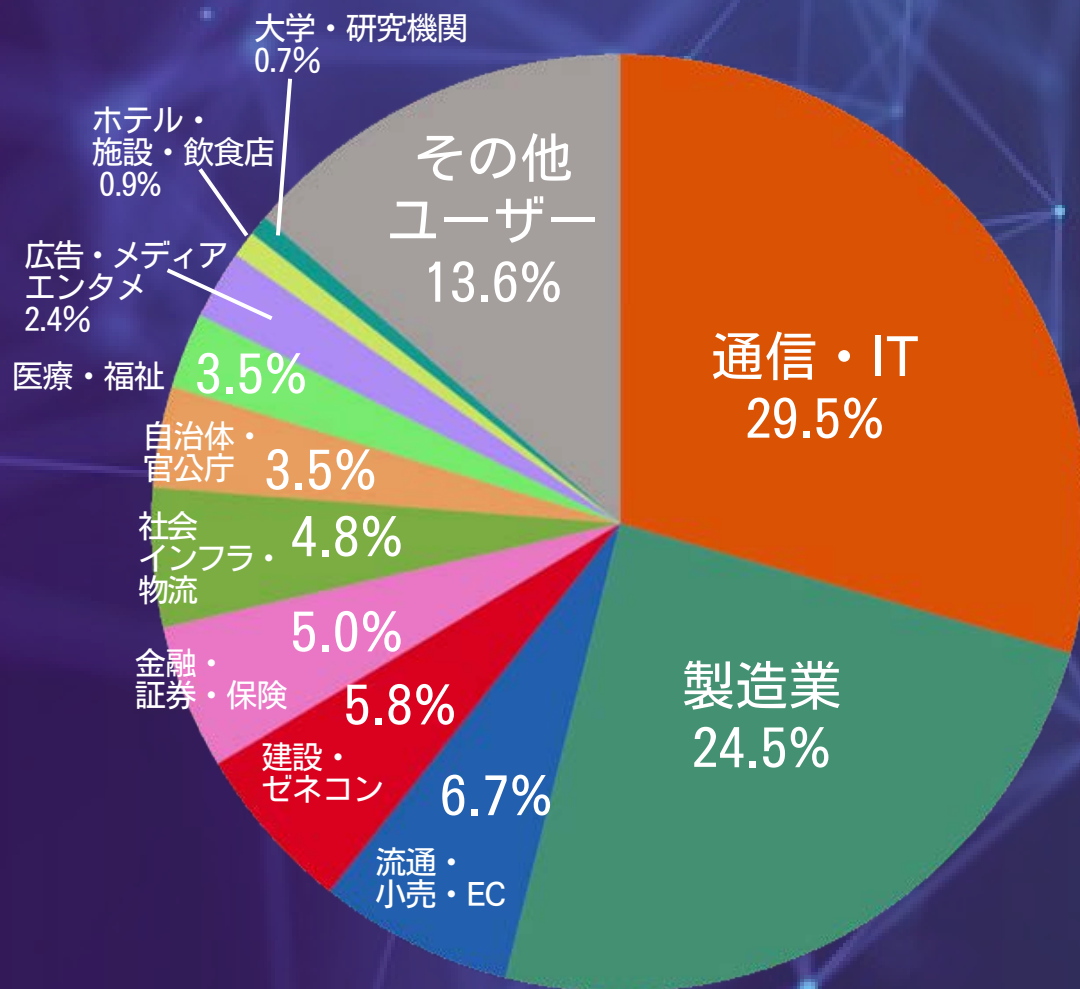
※上記には、出展社・報道関係者は含みません

AXフェーズ（AI導入・活用度）

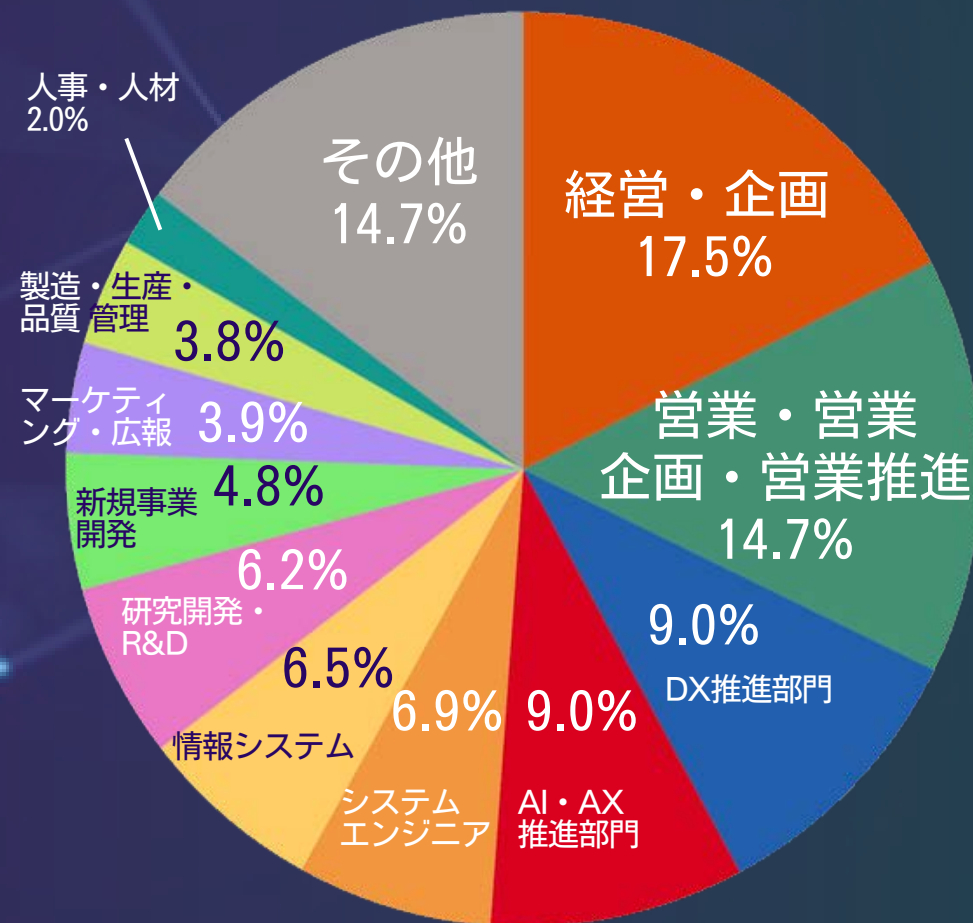


3. 来場者について

業 種

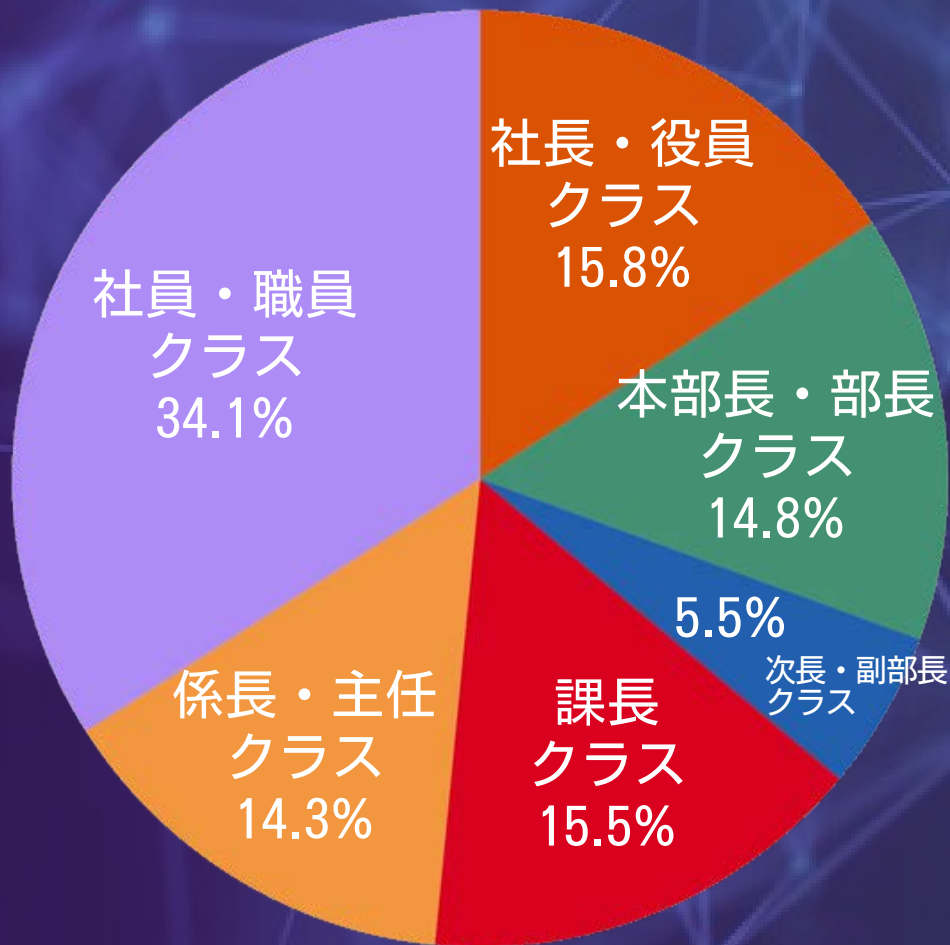


職 種

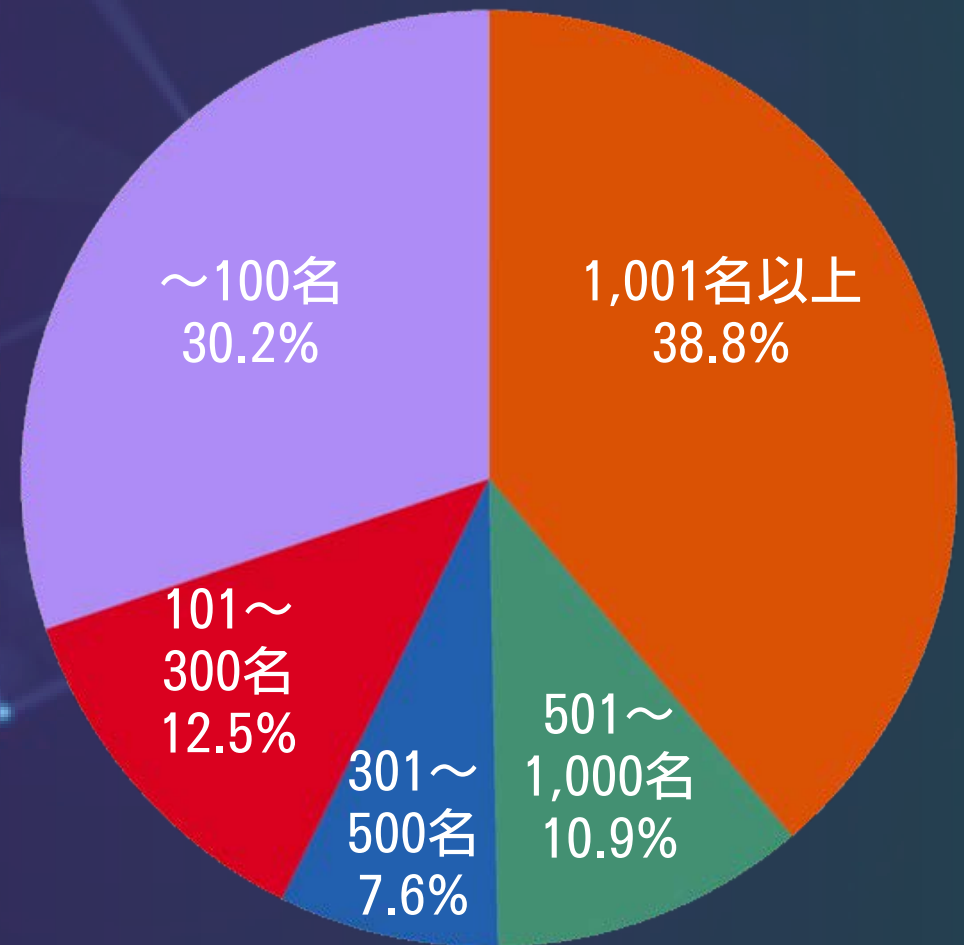


3. 来場者について

役職

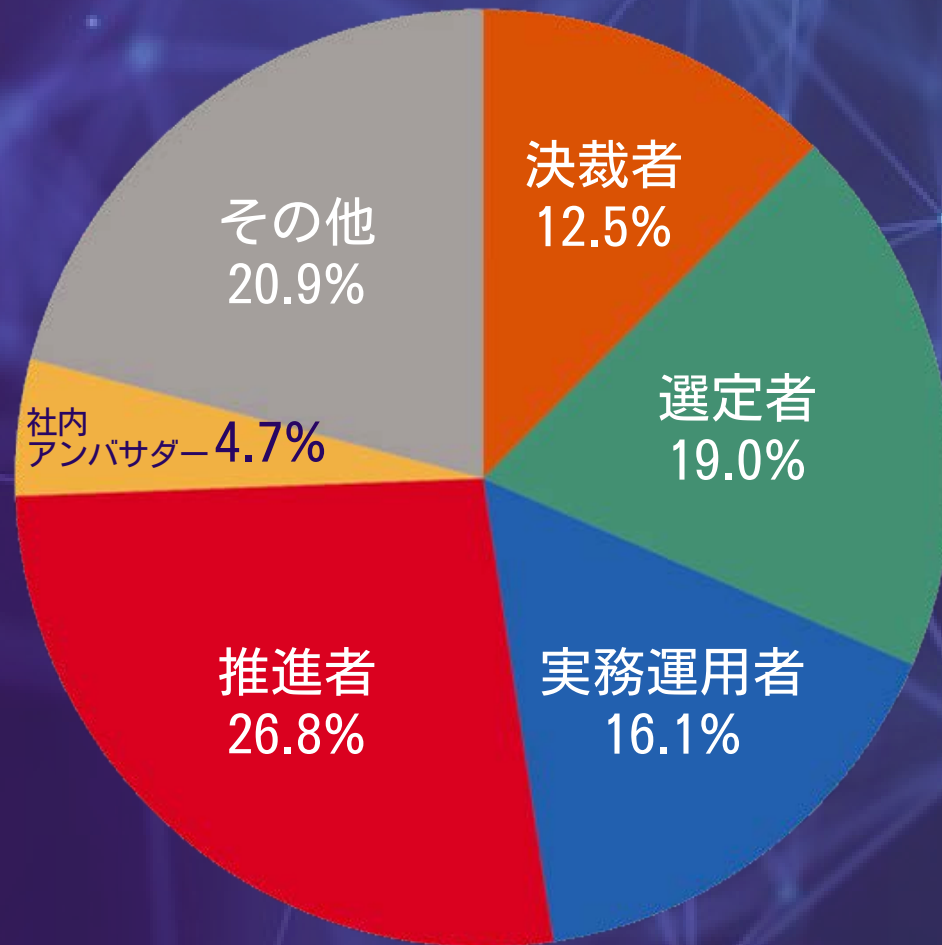


従業員規模

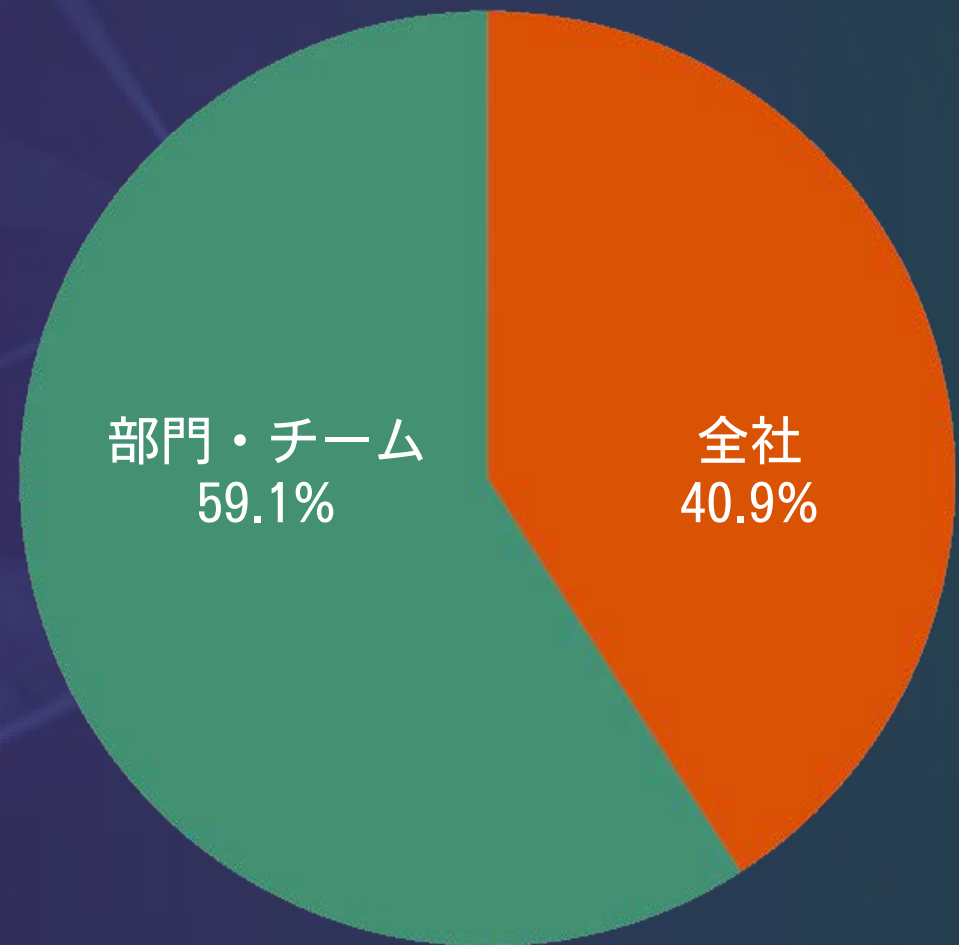


3. 来場者について

AI導入・AX推進における立場・役割

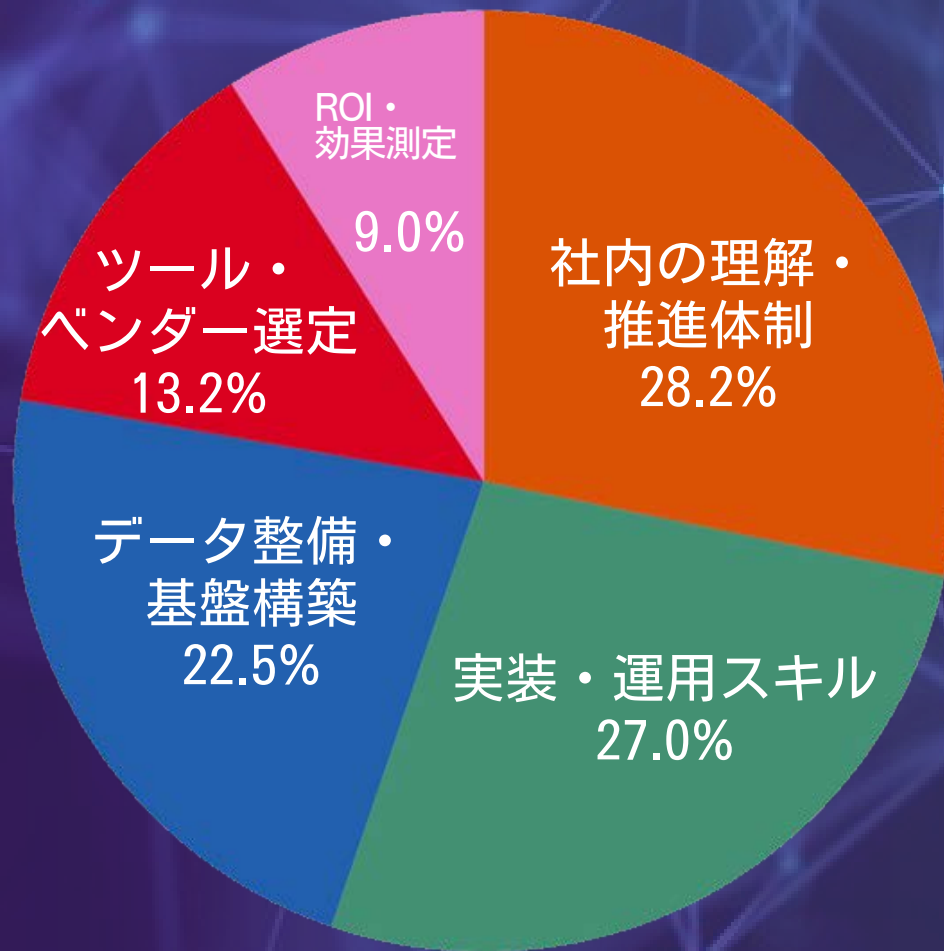


AI推進の範囲

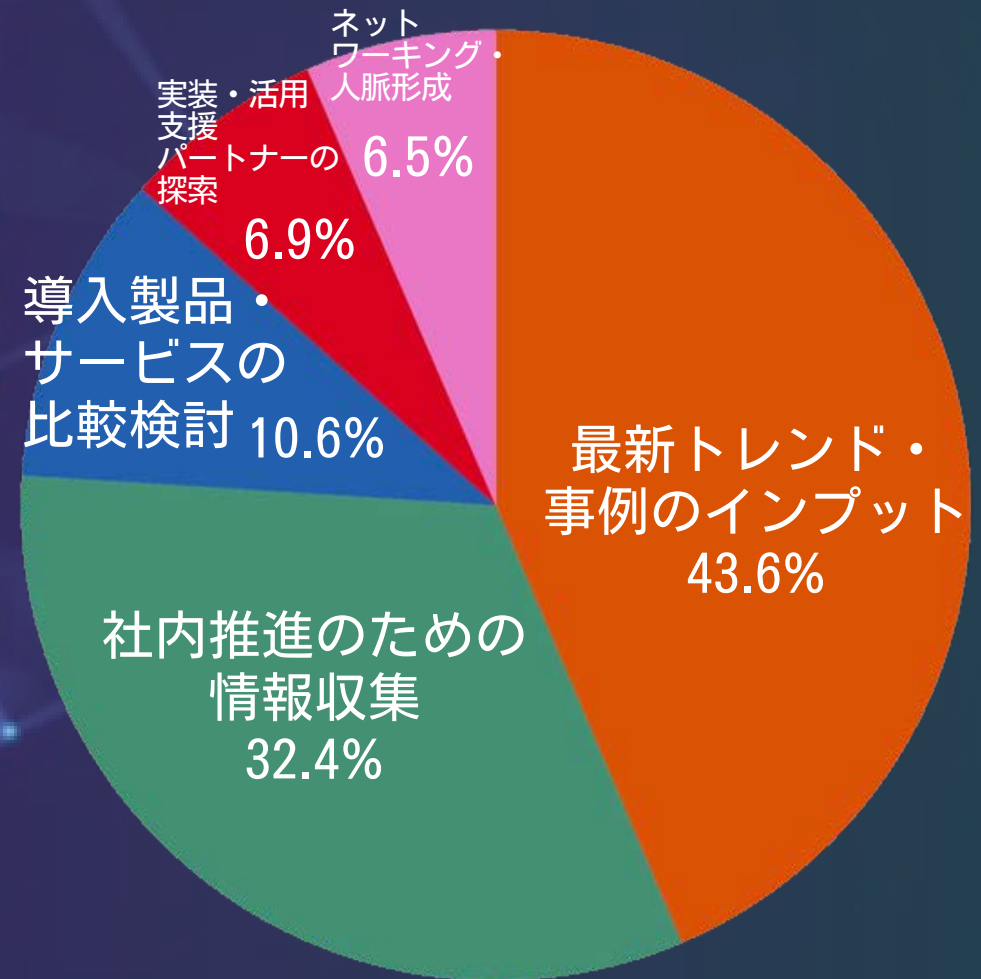


3. 来場者について

現在最も課題と感じていること



今回の来場で最も期待すること



3. 来場者について

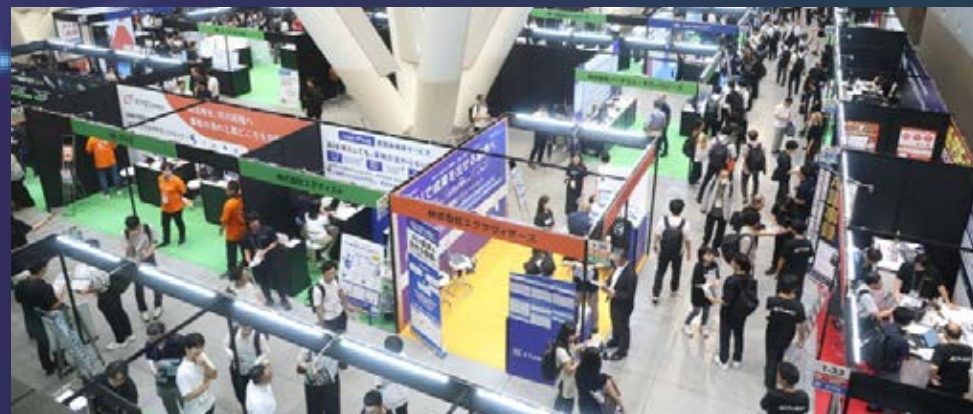
来場者の声（一部抜粋）

AIをどう仕事で活かすかの事例はもちろん、進んでいる企業ではどのように活かし、社員の教育をしているかなど、今まで知らなかった新しい言葉や知識を得られた。

最新情報や先端企業との接点を持つことができ、情報収集に有用だった。業務の都合や内容、予算などが今回と同様であれば、参加したいと思っている。

今回の内容は業務への生成AI活用を検討する上で参考になった。次回もテーマや内容が自身の業務課題と合致していれば、参加したいと考えている。

生成AIの最新動向や活用事例が参考になり、今後の業務活用を考える上で有意義だった。



4. セミナー

4-1. セミナー概要

セミナーもAXフェーズに合わせて受講できる
「AX Table」「TechAwake」「AI Summit」の3つのセッションで開催

聴講者数

のべ **5,040名**

総セッション数

21セッション／2日間



AX Table



TechAwake NewsPicks
特別セッション



AI Summit

4. セミナー

4-2.AX Table

AICX協会の主催、RX Japanの運営でお届けする
AXフェーズに合わせて受講できるセッション



日本企業のAI活用は“個人の熱量”に依存し、組織全体への波及が進まない構造的な課題を抱えています。市場には導入事例や技術情報が溢れる一方で、「なぜ自社では進まないのか」という根本の問いに答える場は、まだ多くありません。AX Tableは、その問いに正面から向き合うセッション設計を採用しました。語るのは机上の正解ではなく、現場で本当に詰まったポイント。AIの最前線に立つ実務家が、500名規模の来場者を前に本音で語り合い、壁を突破するための具体的なヒントを持ち帰る場を目指します。

4. セミナー

AX1：AI活用（個人レベル）

個人活用から組織展開を進めたい方向け

[S-3] AI推進ロードマップの作り方 | 「なんとなくAI」から脱却する3年計画の設計



パーソルクロステクノロジー（株）
アドバイザー /
元パーソルテンプスタッフ（株）
CIO
朝比奈 ゆり子



（一社）AICX協会
代表理事
小澤 健祐

[S-6] うちの会社、AI 使ってるのに何も変わらない | 組織変革の最初の一步とは



（株）みずほ銀行
プロセス変革部
部長
吉野 仁



（株）みずほ銀行
プロセス変革部
部長代理
西脇 愛莉香



（一社）AICX協会
代表理事
小澤 健祐

※掲載内容は2026年8月3日時点のものです。順不同、敬称略。

4. セミナー

AX2：AI活用（組織・部門展開）

組織活用をさらに高度化したい方向け

[S-1] また PoC で終わった | 本番化できない組織に共通する5つのパターン



(株) デジライズ
代表取締役
茶園 将裕



(一社) AICX協会
代表理事
小澤 健祐

[S-8] 現場の生成AI活用を、説明できる成果に変える | 社内展開につなげる実践メソッド



清水建設（株）
NOVARÉイノベーションセンター
AI共創グループ
グループコンダクター
古川 慧



(一社) AICX協会
代表理事
小澤 健祐

※掲載内容は2026年8月3日時点のものです。順不同、敬称略。

4. セミナー

AX3：AI代替（AIが業務を代行）

自動化から意思決定に進めたい方向け

[S-2] データと知識の基盤、業務をどう変革するか | AI エージェント時代の最適解



ライオン（株）
執行役員
全社デジタル戦略担当
中林 紀彦



（一社）AICX協会
代表理事
小澤 健祐

AX4：AIによる意思決定・全体最適

AIを企業競争力、価値創造につなげたい方向け

[S-7] AIが増えると、組織はどう変わるか | 職種・役割・意思決定の再設計



（株）グロービス
デジタル・プラットフォーム部門
マネジング・ディレクター／
（一社）AICX協会 人事AI変革推進委員会
委員長
鳥潟 幸志



（一社）AICX協会
代表理事
小澤 健祐

4. セミナー

Copilot/Gemini活用

Geminiの活用方法を学びたい方向け

[S-5] 「ちょっと便利」の先へ。Gemini Enterpriseで始める、あなただけのAIエージェント



グーグル・クラウド・ジャパン（同）
アジア太平洋地域統括
事業開発部長
小田 健太郎



（一社）AICX協会
代表理事
小澤 健祐

Copilotの活用方法を学びたい方向け

[S-10] AIエージェントで現場はどう変わるか | Microsoft 365導入企業の活用リアル



日本マイクロソフト（株）
クラウド & AI ソリューション事業本部
Azure 技術本部
ソリューションエンジニア
エバンジェリスト
大森 彩子



（一社）AICX協会
代表理事
小澤 健祐

4. セミナー

4-3.TechAwake

AI時代の経営・組織変革を、次の一手へ。
NewsPicksがお届けする特別セッション



(株) ユーザーベースが展開するソーシャル経済メディア「NewsPicks」主催のビジネスカンファレンス「TechAwake」とコラボレーションした特別セッションを開催。「経営と技術、その分断を前提にしない時代へ。」をテーマに、AI時代の経営や組織、人材の変化を、第一線の実践者が語ります。

4. セミナー

AX4：AIによる意思決定・全体最適

AIを企業競争力、価値創造につなげたい方向け

[S-4] CxOがTechリーダーに塗り替わっていく。激変する経営の未来予想図



(株) リンクアンドモチベーション
常務執行役員 CTO
柴戸 純也



(株) メドレー
上級執行役員
人材プラットフォーム本部長
兼 CAXO
石崎 洋輔



【モデレーター】
NewsPicks
Brand Design
シニアエディター
福田 啄也

[S-9] 「それ、AIでできない？」が部下を殺す。AI時代のマネジメント再考



(株) キープレイヤーズ
代表取締役
高野 秀敏



(株) パーソル総合研究所
主席研究員／
執行役員
シンクタンク本部長
小林 祐児



【モデレーター】
NewsPicks
Brand Design
シニアエディター
福田 啄也

※掲載内容は2026年8月3日時点のものです。順不同、敬称略。

4. セミナー

4-4.AI Summit

企業を活かすAI活用を学ぶ。
エージェンティックAIの実践知が集まるセミナー。



生成AIの次なる進化「エージェンティックAI」の実践知が集結。
PoCから実運用への壁の越え方、人とAIの最適な役割分担、AI時代の組織設計まで、第一線で挑むAX推進者たちが、現場で得たリアルな実践知を解説します。

4. セミナー

AX1：AI活用（個人レベル）

個人活用から組織展開を進めたい方向け

[E-3] AI投資が成果に繋がらない3つのGAP～DS/FDEモデル×経営戦略で進めるAgX～



JAPAN AI（株）
執行役員CMO
飯田 海道

AX2：AI活用（組織・部門展開）

組織活用をさらに高度化したい方向け

[E-1] 社内データを安全に使い尽くす！攻めの国産プライベートAI戦略



さくらインターネット（株）
クラウド事業戦略本部
AI事業推進室
高木 良平



InfiniCloud（株）
代表取締役CEO
瀧 康史

4. セミナー

AX2：AI活用（組織・部門展開）

組織活用をさらに高度化したい方向け

[E-4] AIエージェントチームに、現場の判断と定型業務を任せる



(株) DATAFLUCT
代表取締役CEO
久米村 隼人

[E-5] PoCの壁を越える「企業AIエージェント」戦略 — どう制御し連携するか



GDEPソリューションズ（株）
代表取締役社長
榎原 忠幸



(株) NexaScience
代表取締役CEO
牛久 祥孝

[E-8] AIエージェントが拓くバックオフィス業務の未来とは



(株) LayerX
バクラク事業部
前田 祥司

※掲載内容は2026年8月3日時点のものです。順不同、敬称略。

4. セミナー

AX2：AI活用（組織・部門展開）

組織活用をさらに高度化したい方向け

[E-9] 人とAIの役割分担を現場で見つけた話



（株）博報堂テクノロジーズ
DXソリューションセンター センター長
石川 信行

[E-11] AI時代の組織変革 - ツール導入の先にある成果を出す組織設計



（株）Algomatic
代表取締役CEO
鴨居 啓人

※掲載内容は2026年8月3日時点のものです。順不同、敬称略。

4. セミナー

AX3：AI代替（AIが業務を代行）

自動化から意思決定に進めたい方向け

[E-2] 生成AIの次へ：エージェントAIによる“対応から行動へ”のCX戦略



ジェネシスクラウドサービス（株）
ソリューションコンサルティング本部
プリンシパルソリューションコンサルタント
福井 康晃

[E-7] 金の課題、赤の課題 ~成果に繋がる課題の目利きとは~



（株）Wanderlust
代表取締役CEO
西川 響

[E-12] 低遅延AIの最前線～OT/Physical AI/モビリティでのAI利用の実際



（株）ノーチラス・テクノロジーズ
代表取締役会長
次世代高速RDB 剣"Tsuguri"開発責任者
神林 飛志

※掲載内容は2026年8月3日時点のものです。順不同、敬称略。

4. セミナー

AX4：AIによる意思決定・全体最適

AIを企業競争力、価値創造につなげたい方向け

[E-10] 「AI疲れ」を超えて——利益に直結するAI経営の設計図



(株) GenerativeX
取締役 CAIO
共同創業者
上田 雄登

※掲載内容は2026年8月3日時点のものです。順不同、敬称略。



4. セミナー

聴講者からの声（一部抜粋）

企業でのAI導入に関するステージが示されており、大変参考になりました。特に経営層と管理層を分けて取り扱う必要があると説明されており、部署ごとにより細かな説明が必要であると認識しました。

全社展開されている生成AIに関して、発信はされているが、現場目線では活用しにくく、規模は小さいが部内教育を始めようと思っている。そういった中で、今回のセミナーからヒントが得られた。

このセッションを自分にとってのDAY1として、現場課題ヒアリングと課題取りまとめを上期中に実行し、下期に解決のためのツール開発導入の成果物を編み出す決意です。

AIの使い方の話はよく聞けるが、今回のセミナーでは実際現場に展開していくにあたり、対人間に対しどのようなことを考えて行く必要があるのか気づきを得られました。

こういったセミナー聴講は初めてでしたが、ゴール目的を決めてから、データの収集蓄積と扱い方をイメージするというAI利活用の考え方を掴めたのはありがたかった。

Geminiに関しては全く不勉強でしたが、EnterpriseとOffice 365との共存するケースを知り、その機能の破壊力に驚きました。また、AIのスキルと業務知識のマトリックスも参考になりました。

5. 特別企画：AX CONNECT NIGHT



同じ課題を持つ企業・担当者と出会い、AXの次の一手へ。
テーマ別ネットワーキングイベント

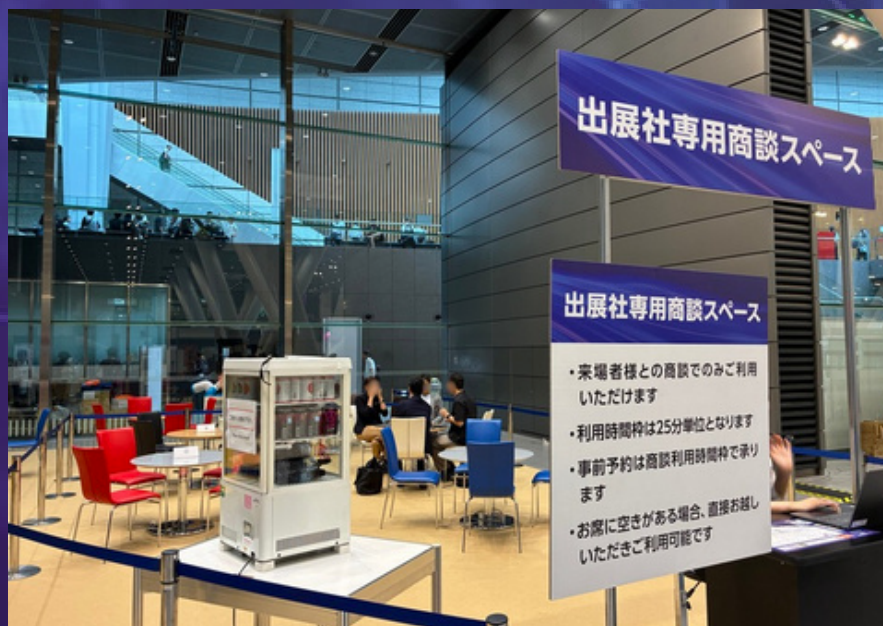
AI・人工知能EXPO NEO初日の夜に、出展社・来場者・登壇者などが集うネットワーキングイベントを開催。会場には、「組織に広げる」、「業務に実装する」、「安全に動かす」、「経営を変える」の4つのテーマエリアを設置。組織浸透・人材育成、PoCから本番化、ガバナンス・セキュリティ、ROI・意思決定など、それぞれの関心や課題に近い参加者との交流など…軽食やドリンクを楽しみながら、AXの次の一手につながる情報交換や新たなパートナーとの出会いにご活用いただきました。



6. 出展社向けサービス

出展社専用商談スペース

出展社と来場者の商談を促進するため、10テーブル（4名掛け）の「商談スペース」をご用意しました。来場者とのアポイントがある場合は事前予約もでき、各ブースに加え、商談スペースでも活発な商談が行われました。



7. 来場者向けサービス

7-1. フェーズ別ラウンジ

AX1&AX2来場者専用ラウンジとGenerativeXが提供するAX3&AX4来場者専用ラウンジをご用意。交流の場としてもご利用いただきました。

AX1&AX2来場者専用ラウンジ



交流会の様子

GenerativeX提供のAX3&AX4来場者専用ラウンジ



GenerativeXによるセッションの様子

7. 来場者向けサービス

7-2. AXフェーズ診断



主催：(一社) AICX協会
特別協力：RXJapan合同会社

自社の「AX現在地」を知り、今見るべき企業がわかる。
AI活用の成熟度診断を展示会場にて実施！

展示会場入ってすぐの特設ブースにて、3～5分の診断に回答すると、企業・組織におけるAI活用の成熟度をAX1～AX4で可視化。自社の現在地に加え、重点的に強化すべき課題や、次に取り組むべきアクションまで確認できる仕組みを提供しました。

さらに、診断結果に応じて、来場者ごとに出席社をレコメンド。会場を回る前に「今の自社に必要な製品・サービス」を整理し、自社の課題に合った商談先を効率的に探せるよう情報提供しました。

[AICX協会による「AXフェーズ診断」の分析結果はこちら](#)



7. 来場者向けサービス

7-3. 会場案内図

本展は、東京国際フォーラムで初開催されました。
AXフェーズ別ラウンジやセミナー会場へのご案内、来場者向け
アプリなどのご案内を1枚にまとめてご提供しました。



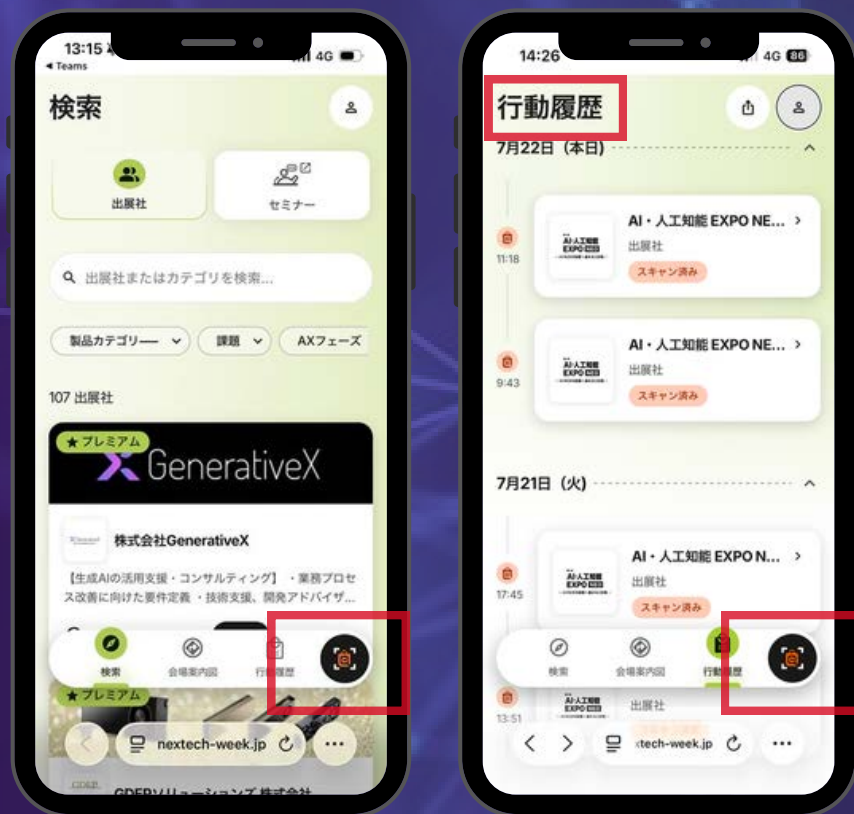
拡大して見る



7. 来場者向けサービス

7-4. NOW（来場者向けアプリ）

来場者向けアプリ「NOW」の提供。会場では、スマートフォンから、出展社を会場案内図から探したり、出展社のデジタル版パンフレットをダウンロード。会期後はパソコンで展示会場でチェックした出展社情報の振り返りができるなど、来場者の展示会の活用をサポートしました。



スマートフォン画面：Colleqt（コレクト）も利用可能に！
「行動履歴」でデジタル版パンフレットを確認できるように！

会期後は、ブラウザ版で同じ内容を確認できます

7. 来場者向けサービス

7-5. AX推進のための「経営企画白書2026」配布

セミナー「TechAwake」を主催した「NewsPicks」のユーザベース社が展開する経済情報プラットフォーム「Speeda」では、経営企画部門における生成AI活用の実態などをまとめた、AX推進に役立つ「経営企画白書2026」を展示会場内で無料ダウンロードできる来場者向けサービスを提供しました。



8. 出展社について

出展社一覧

AX1 対応

(株) エクサウィザーズ
(株) Cuon
Contract One
Sansan (株)
(株) SHIFT AI
JAPAN AI (株)
Felo (株)
(株) ベネッセコーポレーション
(株) マネーフォワード
(株) メイビス
(株) モーション・ティー
ライフイズテック (株)

AX2 対応

(株) アイスマイリー
(株) Aww
(株) アスク
(株) Atsumell
(株) アルゴエックス
(株) Algomatic
(株) Aegis.AI
(株) エヌイチ
(株) キーエンス
Kiei
(株) QuackShift
(株) QuantumCore
Kotozna (株)
さくらインターネット (株)
GDEPソリューションズ (株)
GenX (株)
(株) SIGNATE
(株) Jitera
(株) ジャストシステム
(株) シルエル
ジンベイ (株)
(株) STYZ

(株) スタディスト
(株) スマートコンテンツ
zenith (株)
TISI (株)
(株) DeNA AI LINK
(同) DMM.com
(株) div
(株) Techtical
(株) デジライズ
(株) ナレッジセンス
ネオス (株)
(株) ノーチラス・テクノロジーズ
(株) HOUSE OF DATA
(株) 博報堂テクノロジーズ
バクラク
(株) Folta
(株) フাইル
(株) Helpfeel
(株) homula
MakinaRocks (株)
(株) ユーザーローカル
(株) Lightblue
Lakelink (株)
(株) One StepS

8. 出展社について

出展社一覧

AX3 対応

(株) AITERA
(株) Athena Technologies
(株) Ippu Senkin
AI革命 (株)
(株) EQUES
(株) エクサウィザーズ
(株) if
(株) EraX
(株) Elith
AutoAlze (株)
(株) OptiMax
Allganize Japan (株)
(株) ガラパゴス
(株) クレスコ
(株) KK Generation
ジェネシスクラウドサービス (株)
Jinba
(株) ディバータ
(株) DATAFLUCT
(株) DEHA SOLUTIONS
TempestAI (株)
NALグループ

Nishika (株)
ネットアップ (同)
(株) ノーコード総合研究所
B-Steep
HEROZ (株)
(株) 富士誇
Polaris.AI (株)
(株) renue
(株) レトリバ
(株) Wanderlust

AX4 対応

AICE (株)
Acrosstudio (株)
(株) AI Shift
(株) N S D
(株) EpicAI
(株) GenerativeX
Speeda
Zenken (株)
DAIJOBU (株)
(株) dotD
(株) 日テレHR総合研究所
(株) LifePrompt
Resonate AI (株)
(株) リチェルカ
(株) ログラス

8. 出展社について

出展社の声（一部抜粋）

展示ブースの施工などが簡便で出展ハードルが低かったです。来場者も多く、決裁者の比率も高かったように感じました。

来場者の質・熱量が高く、AIやDXに具体的な
関心を持つ方と多く商談でき、有意義な機会と
なりました。

テーマが絞られているので来場者の来場目的もある程度明確だった。

リード獲得単価や投下リソースなどの観点で見ても、十分な成果が得られたため満足している。



9. 広報・SNS

9-1. プレスリリース（一部抜粋）

本展示会について広報・PR活動を行い、本展の認知度を高めました。

報道関係各位 <プレスリリース>

2026年7月吉日
RX Japan 合同会社

【2026年8月、東京国際フォーラムにて初開催】AI導入を“次の段階”へ
東場場のAI活用成熟度を4色で可視化する、日本初の“AXフェーズ特化型”AI展示会
AI・人工知能 EXPO NEO 10周年の節目に前シリーズAI・人工知能 EXPO NEOの発展版

RX Japan 合同会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田中 良治）は日本最大級のAI総合展示会「AI・人工知能 EXPO」の開催10周年を記念し2026年、新シリーズとなる「第1期 AI・人工知能 EXPO NEO」を、2026年8月5日（金）～6日（土）の2日間、東京国際フォーラムにて初開催いたします。

初開催
AI・人工知能 EXPO NEO
— AXを次の段階へ進める2日間 —

本展示は、AI活用が個人レベルから企業全体での「実装・実用」フェーズへ移行する潮流を捉え、RXの社内にある「AX（AI Transformation）」時代の成長を象徴する展示会として開設します。最大の特色は、東場場の「AXフェーズ（AI活用成熟度）」を4色に分類し、AI活用フェーズがどの段階にあるかを可視化します。AI活用成熟度に応じて最適な製品・サービス・ソリューションと出会い、企業のAI活用次のステップへと進みます。

東場場は事前登録時に、自社のAX（AI Transformation）フェーズを4段階から選択し、当日は東場場内各々出展ブースの表示を中心に、AXフェーズごとの4色のカラーコード（AX1：青/AX2：緑/AX3：黄/AX4：赤）を認識し、AI活用成熟度をわかりやすく可視化します。

さらに、東場場と出展ブースは互いのAI活用フェーズがどの段階にあるかを把握でき、より高度な相互理解や情報交換が可能になります。AI活用成熟度別にデザインも異なる、東場場の実装型展示会フェースです。

報道関係各位
<プレスリリース>

2026年7月吉日
RX Japan 合同会社

企業のAI活用、約9割が「使っているが実用化していない」
— 業務代替・自律化に到達している企業は未だ1割強。
AI・人工知能 EXPO NEOの事前登録からAX推進を可視化

第1期 AI・人工知能 EXPO NEO
■会期：2026年8月5日（金）～ 6日（土）10:00～17:00
■会場：東京国際フォーラム

RX Japan 合同会社は、2026年8月に初開催となる「AI・人工知能 EXPO NEO」の事前登録者1,871件を対象に、企業におけるAI導入・活用および「AX（AIトランスフォーメーション）」推進の進行度を分析しました。

その結果、回答者の約89%が個人レベルでの活用または「現場・部門単位での実装」段階にあり、企業のAI活用は本格的な業務代替・自律化の初期段階にあることが明らかになりました。生成AIの浸透により個人のレベルではAI活用が進んでいるものの、組織全体の業務プロセスをAIが代替・最適化する段階に到達している企業は1割強にとどまるという実情が浮き彫りになりました。このように、多くの企業がAI活用次のステップへの移行に課題を抱えるなか、RX Japanは、AI導入からAX推進、業務改革までを支援する専門展「AI・人工知能 EXPO NEO」を新たに立ち上げました。

なお、本分析では、AI導入・活用の進行度を4つのフェーズに分類しました。フェーズ1が個人レベルでの活用、フェーズ2が「現場・部門単位での実装」、フェーズ3が「AIによる業務代替」、フェーズ4が「AIによる自律化・全社最適化」に定めています。

・AI活用は約9割が「導入初期～組織展開期」
東場場予定のうち、フェーズ1とフェーズ2が全体の約89%を占め、まだAI活用初期～組織展開段階にあることがわかりました。生成AIやAIツールの活用が広がる一方で、企業全体の業務プロセスをAIが代替・自律化する段階に至っている間は限定的です。この結果から、AI活用市場は「導入の有意無」も関係なく、いかに組織へ展開し、実装に定着させるかが問われるフェーズに移行していると考えられます。

・最大の課題は「社内理解・推進体制」と「実装・運用スキル」
AI推進において最も課題に感じられるのは「社内理解・推進体制」で、全体の2.5%を占めました。次いで「実装・運用スキル」が26.6%、「データ整備・基盤環境」が24.2%となりました。

この結果から、企業のAI活用における課題は、単なるツール導入にとどまらず、社内を巻き込んだ推進体制の構築や運用人材の育成、さらにはデータ整備の整備へと広がっていることがわかります。

フェーズ別（企業数）

フェーズ	企業数	割合
フェーズ1（個人レベルでの活用）	1,671	89%
フェーズ2（現場・部門単位での実装）	199	11%
フェーズ3（AIによる業務代替）	10	0.5%
フェーズ4（AIによる自律化・全社最適化）	1	0.05%

最大の課題（企業数）

課題	企業数	割合
社内理解・推進体制	47	2.5%
実装・運用スキル	500	26.6%
データ整備・基盤環境	470	24.2%
その他	854	45.7%

報道関係各位 <プレスリリース>

2026年7月吉日
RX Japan 合同会社

AI・人工知能 EXPO NEO、NewsPicks「TechAwake」にコラボ企画

TechAwake
by NewsPicks
超える、AIシフトの臨界点。

●AI時代の経営・組織改革を促す特別セッションを開催

RX Japan 合同会社は、2026年8月5日（金）～6日（土）に東京国際フォーラムで開催する「AI・人工知能 EXPO NEO」において、株式会社ユーザーズが提供するソーシャル検索メディア「NewsPicks」に協賛し「TechAwake」にコラボ企画を行います。

AIの導入が急速に進む一方で、企業には、導入したAIを業務効率化に活用せず、経費や組織、人材の使途へばらばらに消費されていくことが懸念されています。今回の特別セッションでは、AI活用に変化する経営者の役割や、組織・人材の最適化のあり方をテーマに、各分野の実践者・有識者が議論します。またセッション終了後は、同会場の展示エリアにおいて、自社のAI活用状況（AXフェーズ）や組織に合わせた製品・サービスが紹介されます。さらに、展示会場内では、ユーザーズが提供するAI検索機能「Ayo!」や「Speedy」による、経営企画部門における生成AI活用の実例や、権限管理企業に共通する取り組みが紹介され、AX推進に役立つ経営企画の最新2026年無料セミナーが開催されます。

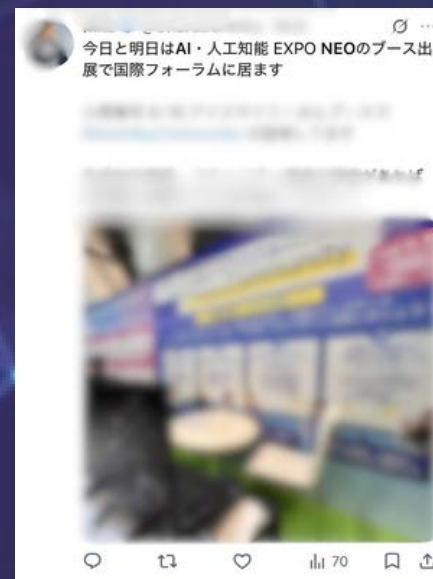
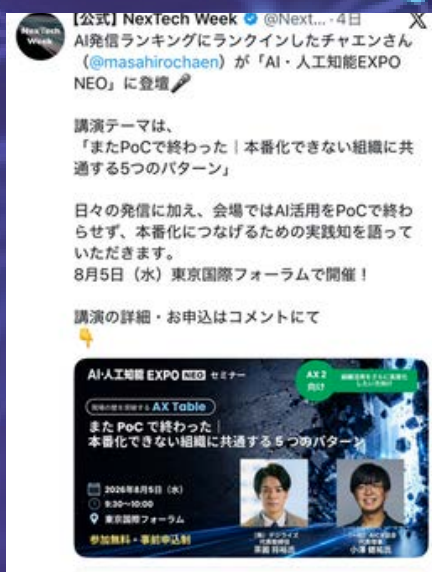
セッションの参加者を通じて、展示エリアで具体的な解決策やパートナーに出会い、経営企画の推進に持ち寄り、次のステップへと進める。東場場当日だけでなく、自社のAXを次のフェーズへと進めるための企画です。

●TechAwakeとは？
「TechAwake」は、AIシフトの臨界点を認識し組織の境界に立ち寄り、組織の実践者を持ち寄るNewsPicksのソーシャル検索です。

9. 広報・SNS

9-2. SNS (X)

公式SNSを通じて、来場に向けて情報発信しました。
また、出展社各社や来場者もNEOについて取上げてくれました。



10. 次回開催のご案内とお問合せ先

展示会名 第2回 AI・人工知能 EXPO [NEO]

会期 2027年1月7日（木）・8日（金） 10:00～17:00

会場 東京国際フォーラム（ホールE）

主催 RX Japan合同会社

第2回 AI・人工知能 EXPO [NEO]の 出展をご検討される方 にお渡しできる 追加情報 がございます

✓ 出展支援サービス ✓ 出展スペース ✓ 出展料金 …など

出展をご検討される方はコチラ



お問合せ先

AI・人工知能 EXPO [NEO] 事務局（主催者：RX Japan合同会社）

☎ 03-6739-4131

✉ nextechweek.jp@rxglobal.com

🌐 <https://www.nextech-week.jp>